

全集中!

板倉 健太
いきま〜す

ウオオオオー!

この雄姿
常陸太田市に
捧げます

**BUNGEE
JUMP!**

9/28日
水戸ホーリーホック
常陸太田の日!
ぜひ来てね!

水戸ホーリーホック 常陸太田市PR大使
大崎 航詩 選手

水戸ホーリーホック 常陸太田市PR大使
板倉 健太 選手

広報
 ひたちおたが
 WEBでも読める



特集 臼杵市姉妹都市締結10周年

市からのお知らせ P21

「二孝女物語」が結んだ2市の絆



常陸太田市



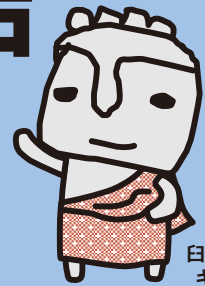
大分県

臼杵市

姉妹都市締結



10周年



臼杵市観光PR
キャラクター
「ほっとさん」

10月に本市と大分県臼杵市は、姉妹都市締結10周年を迎えます。

10周年を記念して、今からおよそ200年前にあった実話「二孝女物語」に関する書簡が
平成17年に青蓮寺(東連地町)で発見されてから現在までの、両市の交流について振り返ります。

問 市民協働推進課市民協働推進係(内線217)



交流の歩み

抜粋

- 平成17年(2005年) 3月 青蓮寺の住職が「二孝女物語」に関する書簡を17通発見
- 平成22年(2010年) 9月 豊後国二孝女関係資料17点が市指定文化財に指定される
- 平成23年(2011年) 5月 市二孝女顕彰会発足。二孝女研究者たちによる講演を実施
- 10月 野津町きつちよむ史談会を中心とする訪問団が本市に
来訪 1
- 平成24年(2012年) 8月 市二孝女顕彰会を中心とする訪問団が臼杵市を訪問。
「交流促進協定」を締結 2
- 平成25年(2013年) 2月 臼杵市で「災害時相互援助協定」を締結
- 11月 臼杵市二孝女訪問団が本市
に来訪 3
- 平成26年(2014年) 10月 旧山田小児童が臼杵市を訪問。臼杵市立川登小学校で
交流を行う
- 平成27年(2015年) 10月 臼杵市民訪問団および川登小児童が本市に来訪 4
- 10日、本市で「姉妹都市提携調印式」を開催し、姉妹都市
となる 5
- 平成28年(2016年) 11月 うすき竹宵市民交流団が
臼杵市を訪問 6

「二孝女物語」ってどんなおはなし？

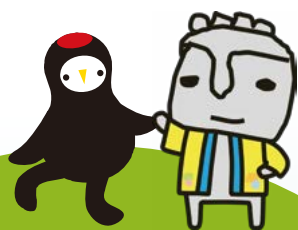
江戸時代後期、豊後国川登郷泊村(現：大分県臼杵市)から親鸞聖人ゆかりの地を訪ねる途中、持病が悪化し、常陸国久慈郡(現：常陸太田市)「青蓮寺」に滞在していた父(初右衛門)を帰郷させるため、2人の娘(つゆととき)が水戸藩や臼杵藩、地域の方々に支えられながら300里離れた常陸国まで旅し、無事に再会を果たして3人で臼杵へ帰郷したという孝行話です。



令和2年10月号の広報紙では漫画で紹介しています。ぜひご覧ください。

舞台となった「青蓮寺」(東連地町)

青蓮寺は皇跡山極楽院と称する浄土真宗の寺院です。天武天皇が親王だった頃、天智9年(670年)から2年ほど滞在されたと伝えられており、その後、仏像や聖徳太子の像がまつられたといわれています。また、青蓮寺は、「二孝女物語」の舞台としても知られ、平成22年には関係資料17点が市指定文化財になり、境内に顕彰碑が建てられました。さらに、平成23年5月には「市二孝女顕彰会」が発足し、二孝女の功績を広く伝える活動が行われています。



姉妹都市締結

10周年を記念して、
10月17日(金)・18日(土)に
臼杵市民交流団が本市に来訪

交流の節目として、新たに共同宣言書を交わすとともに、水府小学校での交流イベントや二孝女ゆかりの地である青蓮寺での交流会等を予定しています。

- 平成30年(2018年) 11月 臼杵市職員、野津町観光協会会長、臼杵市二孝女顕彰会が「常陸秋そばフェスティバル 里山フェア」に来訪
- 令和元年(2019年) 10月 臼杵市、同市課長会、同市二孝女顕彰会、一龍齋貞弥後援会、市二孝女顕彰会より、台風19号の災害見舞金の寄付を受ける
- 令和2年(2020年) 10月 コロナウィルスの影響で臼杵市から本市への市民交流団派遣が中止
- 令和3年(2021年) 3月 水府小と川登小児童がリモート交流会を実施



祝10周年 両市による 絆の物語



姉妹都市締結10周年を記念して、臼杵市長をはじめ、臼杵市出身の常陸太田大使 一龍齋貞弥氏や両市の二孝女顕彰会長からのコメントを紹介します。

江戸時代後期、二孝女と父・初右衛門が、常陸国の皆さまから賜りましたご厚情に対し、200年以上の時を超え、改めて常陸太田市の皆さまに厚く感謝とお礼を申し上げます。私は、今年の1月に臼杵市長に就任いたしました。両市の姉妹都市締結10周年となる記念すべき日を皆さまと一緒に迎えられることを大変光栄に思います。また来月には、臼杵市二孝女顕彰会の皆さまそして「つゆ」と「とき」のふるさとである川登小学校の子どもたちと一緒に常陸太田市を訪問できることを大変楽しみにしています。引き続き、「二孝女物語」をご縁に両市の友好と親善の絆を一層深めてまいりたいと考えておりますので、よろしく願っています。



臼杵市長
西岡 隆氏

姉妹都市提携10周年を迎え誠に喜ばしく心よりお祝いを申し上げます。臼杵市野津町で伝承されていた二孝女物語は、常陸太田市と臼杵市の間に時を超えて温かく美しいご縁を繋いでくれました。私も講師としてその縁に連なり10年以上にわたってこの美談を読み続けてこられた幸せに感謝の気持ちでいっぱいです。姉妹の孝行の心、常陸の人々の慈悲の心、古き良き日本人の義理と人情が息づく二孝女物語はこれからも両市の皆さまに豊かな恩恵と温かな交流をもたらしてくれるものと信じております。



常陸太田大使
いちりゅうき
一龍齋 貞弥氏

常陸太田市と臼杵市が姉妹都市を締結し、10周年を迎えました。「二孝女」のご縁が、今も新たな絆として続いていることを、大変うれしく思います。その中で、臼杵市二孝女顕彰会の活動が少しでもお役に立っているとすれば、これほどうれしいことはありません。本顕彰会は、親への感謝や他人への思いやりの心を次の世代へ伝える活動が続けてきました。会員の高齢化も進む中、これまでの取り組みを継承しつつ、若い世代にも関心をもってもらえるような活動の形を模索していく必要性を感じています。今後は、若い世代へ思いをつなぎ、引き続き両市の交流に貢献できればと願っています。



臼杵市二孝女顕彰会
会長 吉良 達雄氏

この度、臼杵市との姉妹都市締結10周年を迎えることができ、常陸太田市二孝女顕彰会としても大変うれしく思います。平成16年に青蓮寺が臼杵市きつちよむ史談会から二孝女関係資料の調査依頼を受けたことを皮切りに、多くの方々の努力で書簡17通が発見され、以来、姉妹の孝心が長きに渡り称えられてきました。見返りを求めない親切心などを、これからも大切に考え、両市の発展と姉妹都市交流をいつまでも続けられることをご祈念申し上げます。



常陸太田市二孝女顕彰会
会長 菊池 伸也氏

もつと知りたい 臼杵市の魅力

臼杵市は歴史と自然が融合する落ち着いたまち。城下町の風情や歴史的な石仏、鍾乳洞、海の景観を一度に楽しむことができます。豊後水道の海の幸や伝統の醸造文化も魅力的。歴史的な街並みを歩き、温泉でゆっくり癒される、のんびりした旅にぴったりです。



国宝

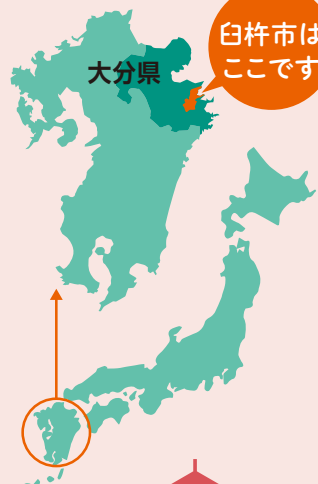


臼杵石仏は平安時代後期から鎌倉時代にかけて彫刻されたといわれています。規模、数量、質の高さにおいて、日本を代表する石仏群であり、彫刻としても九州初の国宝に指定されました。

工芸



伝統工芸品である臼杵焼は伝統を引き継ぎつつも現代のくらしにふさわしい器として、どんな生活にも溶け込む素直さや使いやすさなど多面的な魅力を備えています。



臼杵市は
ここです

食

臼杵市は新鮮な海の幸が豊富で、ふぐやかぼすブリが有名です。さらに、臼杵かぼすや焼酎等も人気があります。



祭り

臼杵市の有名な祭りには、春の臼杵桜まつりや7月の臼杵祇園まつり、8月の臼杵石仏火まつり、11月のうすき竹宵等があり、伝統と自然を楽しめます。



交流
10周年
特別企画

道の駅ひたちおおたで臼杵市写真展 および特産品の販売を行います！



写真展 10月9日(木)～21日(火)



～最優秀賞～

体験交流室に臼杵市フォトコンテスト入賞作品を展示します。写真をとおして、臼杵市を感じてみませんか？



～優秀賞～

特産品販売 10月18日(土)

臼杵市職員の皆さんが、臼杵産のかぼすをはじめ、特産品を販売します。臼杵の味覚をぜひご賞味ください。





祝

おめでとうございます

佐竹バレーボールスポーツ少年団が県大会で活躍

6月21日・22日に開催された「第45回全日本バレーボール小学生大会茨城県大会」(男子の部)で佐竹バレーボールスポーツ少年団が見事第3位に輝きました。さらに、7月5日・13日に開催された「第44回関東ブロックスポーツ少年団女子バレーボール交流大会茨城県大会」でも、女子チームが健闘し、第3位に入賞しました。



〈男子〉



〈女子〉



トピックス

TOPICS

源氏川の彼岸花をPR

7月22日、源氏川の彼岸花を保存する会の皆さんが、9月下旬から開催予定の鑑賞会と、初めて作成したパンフレットが完成し、市長へ報告に訪れました。代表の方からは、鑑賞会開催に向けた活動状況や意気込みなどについてお話がありました。また、パンフレットは、鑑賞会PRのために団体の活動記録や源氏川の四季写真、散策マップなどをまとめたもので、2,000部発行し、鑑賞会来場者に配布する予定です。



救助資機材取扱訓練を実施

7月23日・24日、消防本部で救助訓練を行いました。この訓練は、救助資機材の特性を理解し、効率的な機器操作を習得することを目的として、講師指導のもと、南消防署・北消防署が合同でより実践的な車両解体訓練を行いました。今後も、迅速かつ安全な活動を心掛け、地域住民の安全・安心の確保に努めていきます。



社会を明るくする運動

7月24日、市内スーパーマーケットを中心に、「社会を明るくする運動」の街頭キャンペーンが行われました。この取り組みは、久慈地区保護司会常陸太田支部が中心となり、犯罪や非行のない安全で明るい地域社会を築くために毎年行われているものです。



じょっピーが乗車10,000人を達成しました

7月27日、自動運転EVバス「じょっピー」が乗車10,000人を達成しました。これを記念して、8月2日、フォレストモール常陸太田で記念セレモニーが行われました。乗車10,000人目となった市内在住の川崎さんご家族には、道の駅ひたちおおた レストランShunSai食事券などが贈られました。



インフィニティ

ワット

チャレンジ

INFINITI 100W CHALLENGE

7月28日・30日、下宮河内町地内で常陸太田大使の中川聡さんが研究開発を進めている「超小集電技術」の実証実験が行われ、最先端技術を見学するために県内外から企業や行政等の関係者約200人が参加しました。超小集電技術は、土や水、食品など身近にあるものを利用して電気を集める日本発の再生循環型の電力資源技術で、今後さまざまな製品やサービスへの実装・実用化が期待されます。



梨ぶどう守り隊防犯パトロール結団式

8月4日、道の駅ひたちおおたで、梨・ぶどう農家による「梨ぶどう守り隊」の結団式が行われ、市内各果樹園の防犯パトロールを実施しました。例年、市内では果樹の盗難被害が発生しており、パトロールを通じて大切な果樹を守りたいという思いから結成されました。今後も定期的なパトロールを続け、被害の抑制に努めるとともに、一人でも多くの皆さんに果樹を味わっていただけるよう活動してまいります。



ぶどう・梨の品評会

8月5日、JA常陸の常陸太田ぶどう部会によるハウスぶどうの品質検討会が開かれ、今年の出来栄が確認されました。また、8月22日には同部会による雨よけ露地ぶどうの品評会が開かれ、巨峰と常陸青龍の重さ、房の形、色、糖度などが審査されました。品評会の後、同部会から市長へ巨峰と常陸青龍が贈られました。JA常陸の常陸太田梨部会では8月23日、道の駅ひたちおおたで販売シーズンを迎えた梨のPR販売を行いました。また、8月30日には梨の品評会が開かれ、幸水について重さや色、糖度、食味などを審査しました。審査の結果、ぶどうも梨も糖度が高く、とても出来が良いとの評価になりました。市内果樹園や道の駅で販売しておりますので、ぜひご賞味ください。



株式会社アプリシエイト様より
1,000,000円



常陸農業協同組合様より
うちわ
(太田まつりで子どもたちが使用)

温かいご支援
ありがとうございます



株式会社オカベ様、
株式会社根本工務所様より
長波電波時計 1台



「第41回うしくかっぱ祭り」に参加しました

7月26日、姉妹都市である牛久市最大のお祭り「第41回うしくかっぱ祭り」に市民交流団34人が参加し、祭りをとおして牛久市の皆さんと交流を深めました。牛久市と水府村（現：常陸太田市）は昭和61年に姉妹都市となり、平成16年の合併により常陸太田市となってからも関係は引き継がれ、平成19年に改めて姉妹都市提携が締結されました。

祭りの目玉である「河童ばやし踊りパレード」では、交流団がチーム常陸太田として楽しく踊り、「団結賞」を受賞しました。



水戸ホーリーホック 常陸太田市PR大使

大崎 航詩 選手

板倉 健太 選手

バンジージャンプ に挑戦!



バンジー後は
道の駅で
市の味覚に
舌鼓み



7月29日、竜神大吊橋で水戸ホーリーホック常陸太田市PR大使の大崎選手、板倉選手がバンジージャンプに挑戦しました。飛ぶ前は緊張した表情も見受けられましたが、橋に立つと、2人とも両手を広げて勢いよく飛び出しました。挑戦後は、水府物産センターレストラン森の風で常陸秋そばを堪能、その後水府スポーツ広場や道の駅ひたちおおたに立ち寄り、本市を満喫しました。また、9月28日には「常陸太田の日」が開催されます。詳細は水戸ホーリーホックホームページをご確認ください。

水戸ホーリーホック
ホームページ



市ホームページ
(PR大使)



令和6年度市原子力災害広域避難訓練の結果(概要)

2月3日・8日に実施した原子力災害広域避難訓練の結果についてお知らせします。
市では、訓練を通して得られた課題の解消に努め、さらなる原子力防災の取り組みを進めていきます。訓練結果の詳細は市ホームページをご確認ください。

市ホームページ▶
(消防・防災)



訓練概要

東海第二発電所での事故を想定し、災害対策本部の運営、屋内退避、一時避難といった一連の流れを訓練するとともに、市民の皆さんの原子力に対する基礎知識などの向上を図りました。

訓練参加機関等

本部運営訓練および広域避難訓練(216人)

常陸太田市、常陸太田市議会(災害対策委員会)、大子町、内閣府、茨城県、茨城県オフサイトセンター、太田警察署・大子警察署、陸上自衛隊施設学校、東海第二発電所、社会福祉法人朋友会ひまわり、メンタルサポートきらり(大子町)

訓練参加住民等

- 屋内退避、広域避難訓練(161人) …山田・染和田・天下野地区
- 屋内退避訓練(171世帯) ……………太田・菅田地区

課題と今後の取り組み

①市災害対策本部の運営

課題

災害対策本部の本部員等は、住民避難の実動状況を視察・評価した結果から、各部における原子力災害時の対応を整理する必要があります。

今後の取り組み

実災害時の時間経過に伴い、対策本部が行うべき業務や収集すべき情報などを整理していきます。

②一時集合所での活動手順

課題

避難者の誘導や安定ヨウ素剤の配付などに多くの時間を要して混乱が生まれました。

今後の取り組み

受付手順や人員配置を見直すなど、一時集合所の運営マニュアルを改訂します。

③避難経路の決定・変更

課題

降雪等により避難経路を変更する場合の手順を明確にしておく必要があります。

今後の取り組み

国や県などと協力し、避難経路を変更する場合の手順について協議を進めます。

④屋内退避時の対応

課題

屋内退避時の物資供給手順などについて県と連携して訓練を実施できなかったため、県と連携した対応体制を検討・構築する必要があります。

今後の取り組み

県や災害協定事業者等と連携し、物資供給体制の構築に向けて検討を進めます。

⑤福祉車両の確保

課題

避難行動要支援者等の避難に必要な福祉車両を確保する必要があります。

今後の取り組み

県による広域的な福祉車両の運用・配車体制について協議を進めます。

⑥原子力災害に関する市民の知識

課題

原子力災害の基礎知識について市民の皆さんへの啓発が必要です。

今後の取り組み

今後も訓練などを通じて啓発に努めます。

令和7年度市原子力災害広域避難訓練を実施します

東海第二発電所での原子力災害を想定し、自宅から一時移転するまでの訓練を行います。

と き

10月25日(土)午前8時～午後0時30分

訓練対象地区

機初地区、佐都地区、河内地区

*参加者などについては町会を通じて事前にお声がけしています。

訓練内容

●屋内退避訓練 ●一時移転および避難所運営訓練(広域避難)

●避難退域時検査(スクリーニング)

市内全域の
皆さんへの
お知らせ

当日は、対象地区に対して、防災行政無線やじょうづるさんナビ等により、災害発生の情報や避難開始等の訓練放送が流れます。訓練ですので実際の災害とお間違えのないようご理解ご協力をお願いします。



原子力の基礎知識を身につけましょう

原子力災害から身を守るためには、「原子力の基礎知識を身につけること」や「適切な屋内退避」が必要です。市民の皆さんがいつでも確認できるように、市ホームページで動画を配信しています。お手持ちのスマートフォンやタブレット、パソコンで視聴することができます。

*視聴の際は、YouTubeの視聴環境が必要です。

配信内容

①原子力防災の基礎講座
(7分40秒)

②屋内退避が指示されたら
(4分15秒)

市ホームページ
(原子力基礎講座・屋内退避動画)



☎ 消防課(73-1194)

あなたの命を守る マイナ救急

マイナ救急とは・・・

救急隊員が傷病者のマイナ保険証(健康保険証として利用登録したマイナンバーカード)を活用し、傷病者の医療情報等を閲覧する仕組みのことです。救急隊がマイナ保険証の提示を求めることがありますのでご理解ご協力をお願いします。マイナ保険証がない場合も、従来通りの救急対応を行います。

★マイナ保険証で以下の情報が伝わります



➡ ・傷病者の説明負担が軽減されます
・より適切な処置が受けられます

マイナ救急の流れ



10月1日から全国一斉開始

詳細は特設サイトをご確認ください。



あなたの命を守る
「マイナ救急」

